

「ペットボトルリサイクル講座」in 広見小学校

令和8年7月6日、令和4年に締結した「ボトル to ボトル」リサイクル事業の協定に基づき、サントリーグループの協力により、広見小学校4年生を対象に「ペットボトルリサイクル講座」を実施しました。

はじめに、サントリーグループの講師より、なぜリサイクルが大切なのか、どのようにペットボトルからペットボトルへ再生されるのか、楽しくわかりやすく教えてもらいました。



次に、ペットボトルリサイクルに大切なこととして、「キャップをはずす」「ラベルをはがす」「中をすすぐ」ことを学び、代表の児童が実際に分別を体験しました。



最後に子どもたちは「これからは分別をがんばる。」「リサイクルが大切だということがわかった。」など、感想を話してくれました。

「紙のリサイクル講座」in 広見小学校

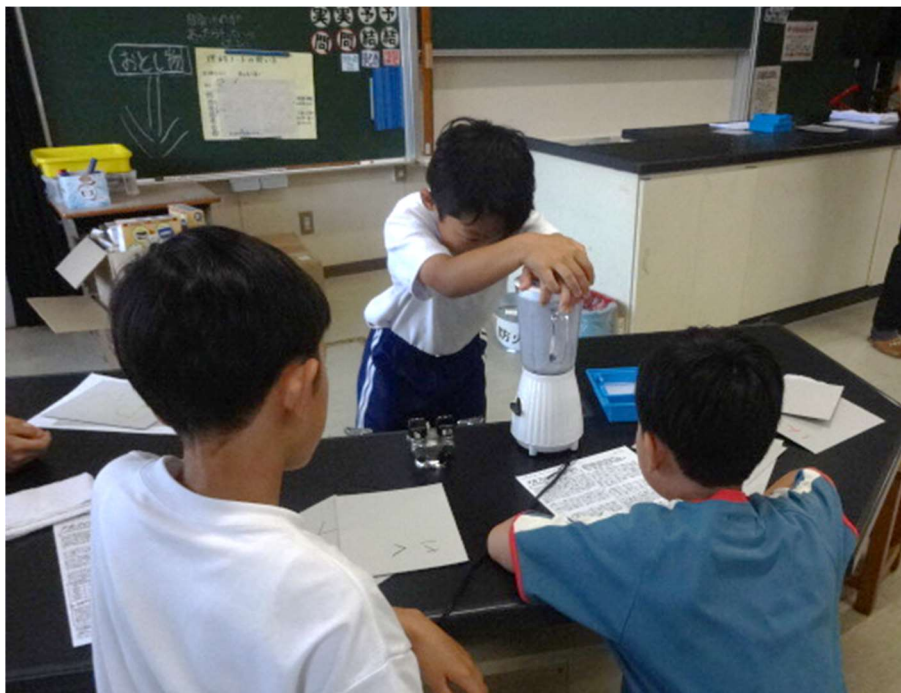
令和8年7月9日、令和7年に締結した「紙類のリサイクルに関する協定」に基づき、グリーンリメイク株式会社、大王製紙株式会社、公益財団法人古紙再生促進センターの協力により、広見小学校4年生を対象に、「紙のリサイクル講座」を実施しました。

はじめに、クイズを取り入れた紙のリサイクルについての話を聞きました。子どもたちはクイズに答えながら、どのような紙がリサイクルできるのか、リサイクルされた紙が何に再生するのかなどを学びました。



次に、どのように紙がリサイクルされるのか、実際に古紙を使った手すきはがきづくりを体験しました。

まずはチラシを破って水をいれ、ミキサーにかけます。



はがきの型に流し入れ、型からはずして乾かせば、オリジナル再生はがきの完成です。



子どもたちは「いろいろなリサイクルがあることがわかった。」「はがきを作るのが楽しかった。また作ってみたい。」など、完成したはがきに大満足でした。

今回学んだことを、子どもたちから家庭へ、家庭から地域へ広げていけるといいですね。